

1 主体的な学習を促す教育方法の導入状況

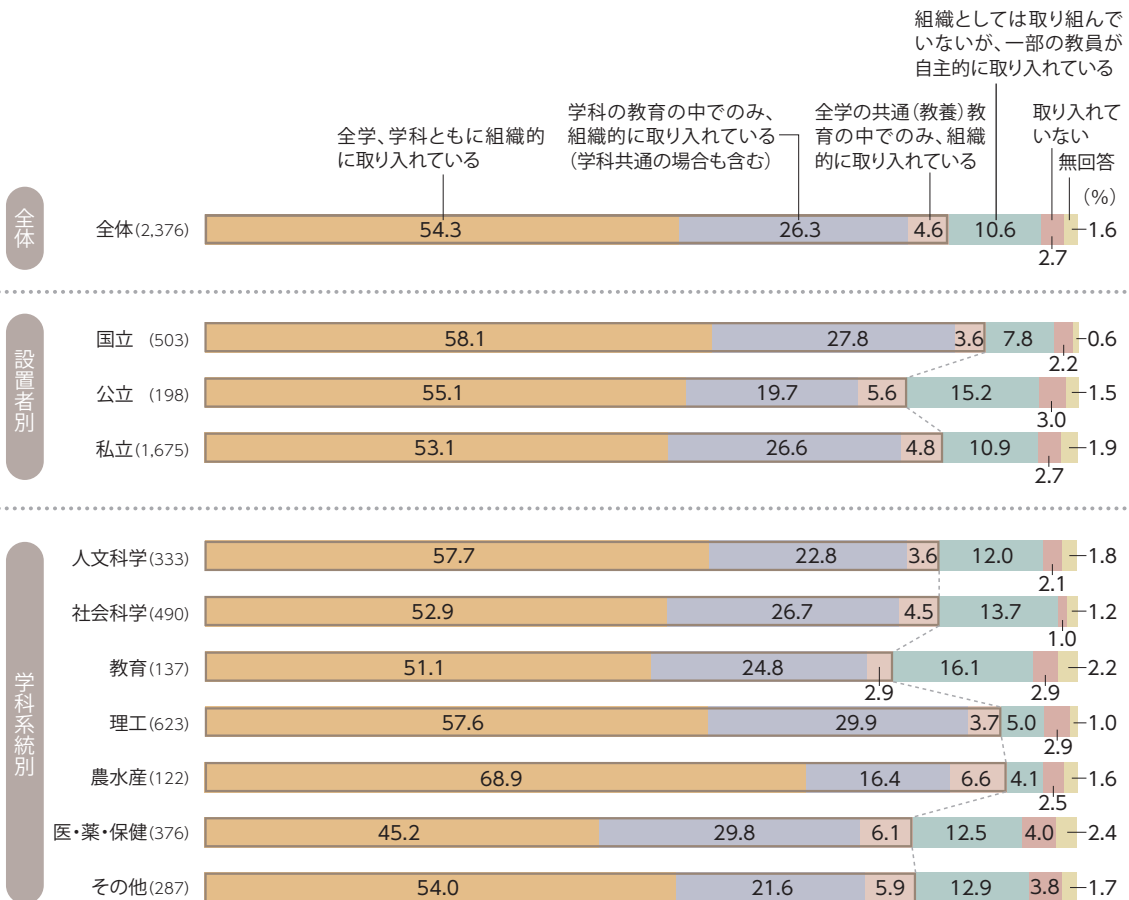
5割強の学科が「全学、学科ともに組織的に取り入れている」

主体的な学習を促す教育方法のカリキュラムへの導入状況についてたずねたところ、「全学、学科ともに組織的に取り入れている」(①)が54.3%で最も多く、次いで「学科の教育の中でのみ、組織的に取り入れている(学科共通の場合も含む)」(②)26.3%、「全学の共通(教養)教育の中でのみ、組織的に取り入れている」(③)4.6%と続いた。全体の85.2%が何らかの形で「組織的に取り入れている」(①～③計、以下同)と回答している。学科系統別にみると、「理工」「農水産」といった理系の学科で「組織的に取り入れている」割合が9割と高くなっている。



Q 貴学科では現在、組織的に「主体的な学習」を促す教育方法をカリキュラムに取り入れていますか。
(○は1つ)

図1 「主体的な学習」を促す教育方法のカリキュラムへの導入 (全体・設置者別・学科系統別)



2 主体的な学習を促す取り組みの実施内容

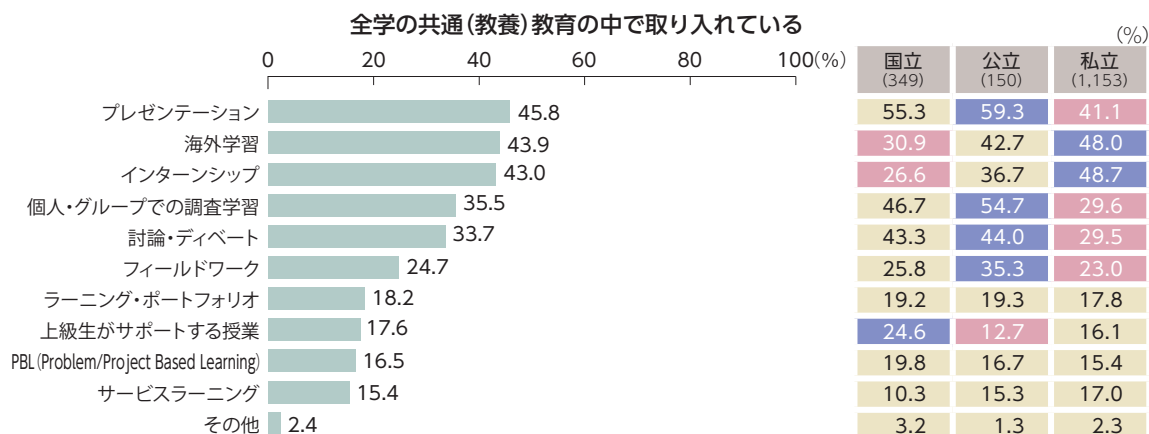
最も多く実施されているのは「プレゼンテーション」

主体的な学習を促す取り組みの実施内容を、「全学の共通(教養)教育」「学科の教育」(以下、それぞれ「全学」「学科」とする)に分けてたずねた。最も多かったのが、全学、学科とも「プレゼンテーション」で、全学45.8%、学科83.2%であった。次いで多いのが、全学では、「海外学習」43.9%、「インターンシップ」43.0%、学科では「個人・グループでの調査学習」74.4%、「討論・ディベート」57.8%であった。設置者別にみると、大きく異なるのは「インターンシップ」で、国立の実施率が全学26.6%、学科63.1%と、公立・私立に比べて、学科の教育の中に位置づけているところが多くなっている。



貴学科では「主体的な学習」を促すという観点で、どのような取り組みをしていますか。「全学の共通(教養)教育」と「学科の教育」に分けて、あてはまるものにすべて○をつけてください。

図2 「主体的な学習」を促す取り組みの実施割合 (全学の共通(教養)教育)

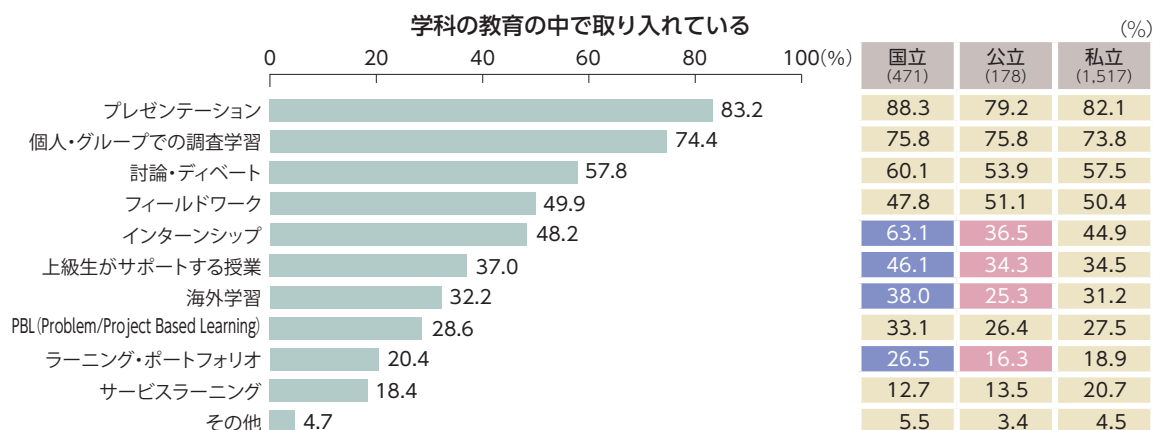


注1) 複数回答。 注2) n=1,652(詳細はp.7の※参照)

注3) 設置者別の表の網掛けは、設置者間で10ポイント以上の差があるもので、最も高いものを■、最も低いものを□で示している。図3も同じ

注4) 「海外学習」は、調査票では、「海外学習(海外留学、海外企業などへのインターンシップなど)」として示している。図3も同じ

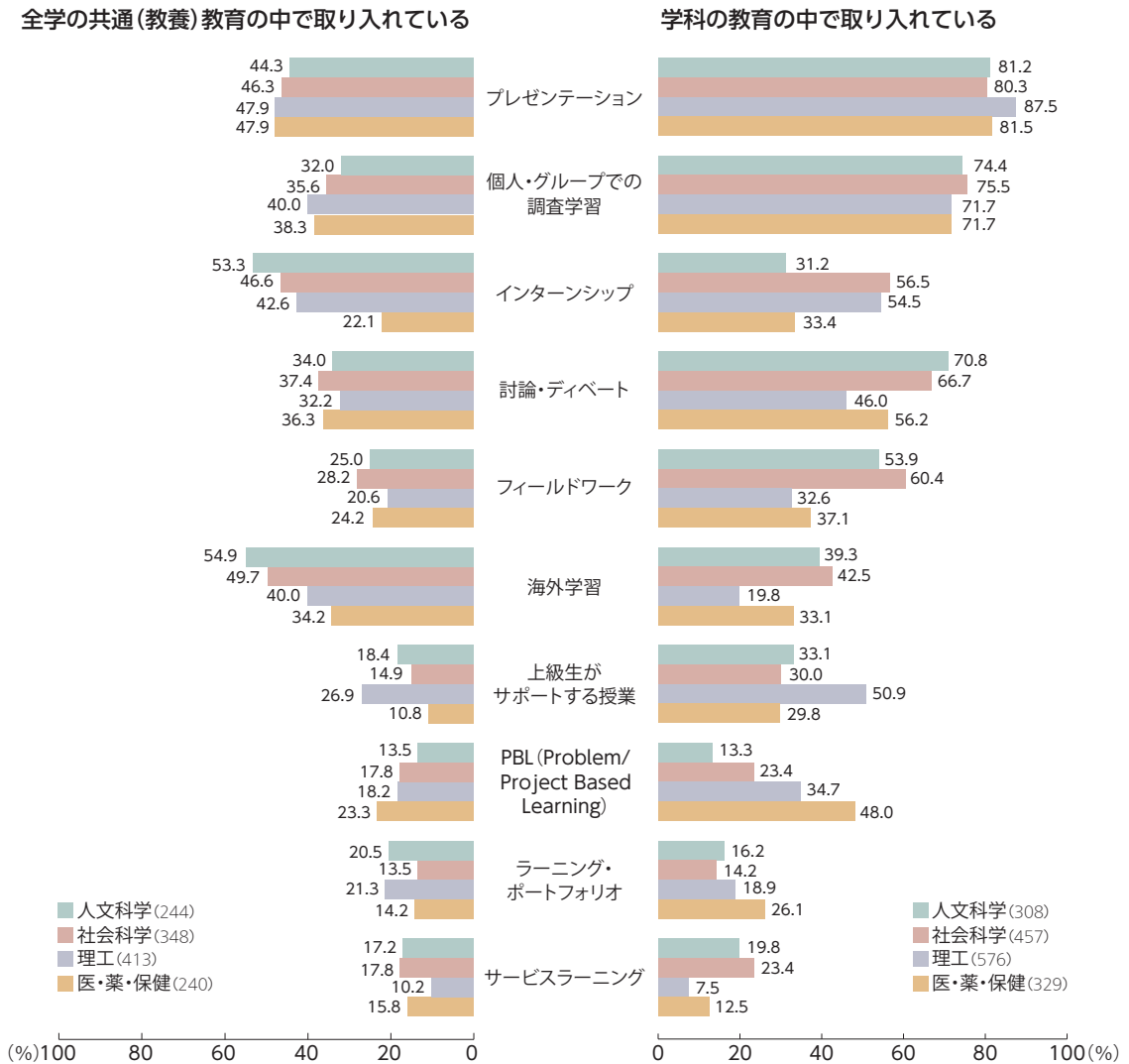
図3 「主体的な学習」を促す取り組みの実施割合 (学科の教育)



注1) 複数回答。 注2) n=2,166(詳細はp.7の※参照)

4つの学科系統について比較をすると、全体に実施率の高い「プレゼンテーション」「個人・グループでの調査学習」はどの学科系統でも高く、顕著な違いはみられない。「インターンシップ」は、「人文科学」では、全学での実施率が高く(53.3%)、学科の教育の中では低く(31.2%)になっており、他の学科系統では学科での実施率の方が高いのに比べて、位置づけに違いがみられる。また、「上級生がサポートする授業」は全学・学科ともに「理工」での実施率が高く、「PBL」は「医・薬・保健」で高いといった傾向がみられる。

図4 「主体的な学習」を促す取り組みの実施割合 (学科系統別)



注) 複数回答。

※左右のグラフの対象数は、「組織的に「主体的な学習」を促す教育方法をカリキュラムに取り入れていますか」の問いの回答(p.5 図1参照)によって異なる。

- ・「全学の共通(教養)教育の中で取り入れている」(左図):①全学、学科ともに組織的に取り入れている」②組織としては取り組んでいないが、一部の教員が自主的に取り入れている」③全学の共通(教養)教育の中でのみ、組織的に取り入れている」の回答者。対象数は1,652件。
- ・「学科の教育の中で取り入れている」(右図):上記①②の回答に加え、「④学科の教育の中でのみ、組織的に取り入れている」の回答者。対象数は2,166件。

3 主体的な学習を促すために有効な取り組み

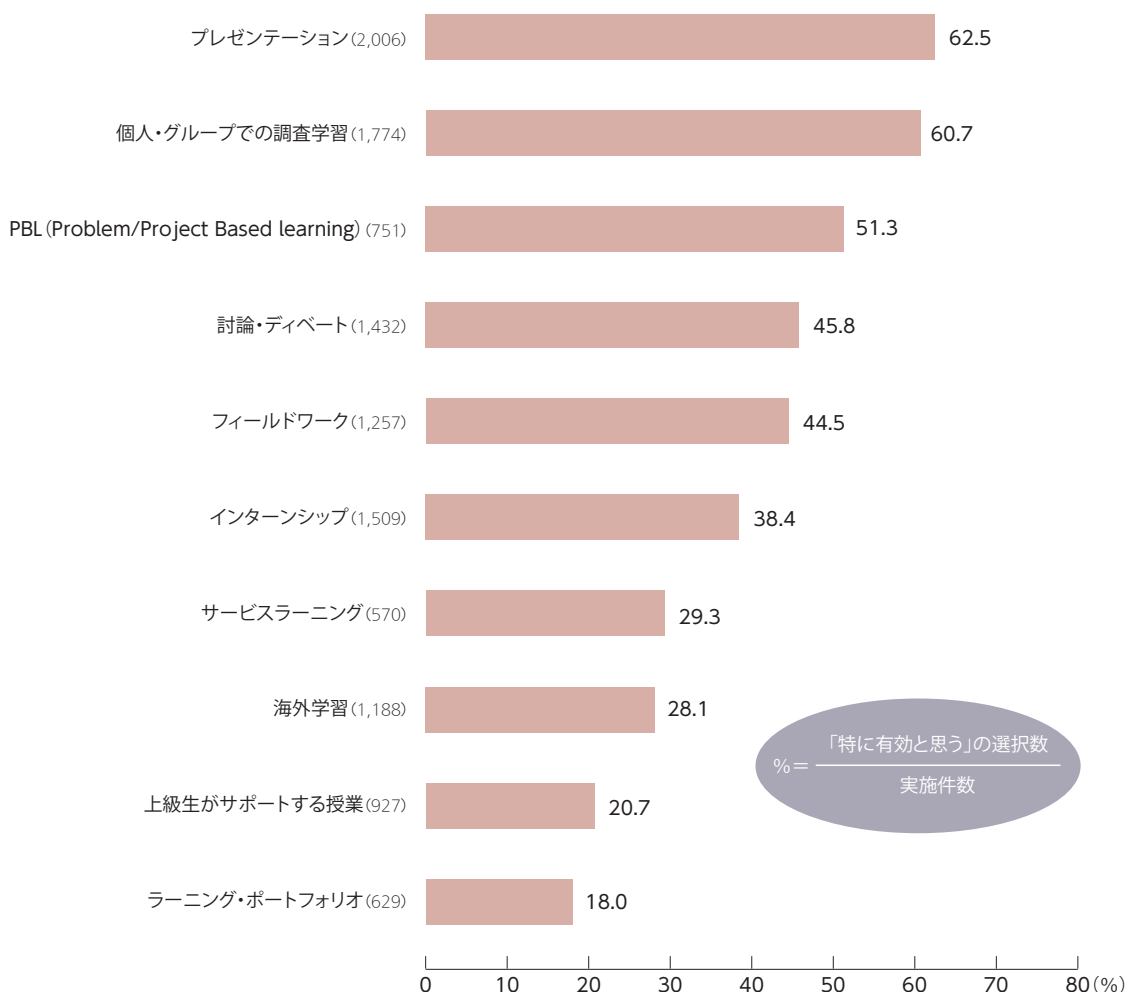
有効と感じているのは「プレゼンテーション」「個人・グループでの調査学習」

図5は、主体的な学習を促すために特に有効と思う取り組みを3つまで選んでもらい、その選択数を、各取り組みの実施件数を分母にして除したものである。これを便宜的に「特に有効と感じている率」として比較をすると、最も高いのが「プレゼンテーション」(62.5%)、次いで「個人・グループでの調査学習」(60.7%)、「PBL」(51.3%)であった。このうち「PBL」は、実施率はさほど高くはないものの(p.6参照)、実施しているところでは比較的评价が高いといえる。



前問で「全学」もしくは「学科」で取り入れていると回答した取り組みのなかで、「主体的な学習」を促すという観点で、特に有効と思う取り組みを3つまで選んで、番号をお答えください。

図5 「主体的な学習」を促すために特に有効と思う取り組み（実施件数に占める選択率）



注1) 複数回答(3つまで)。

注2) 「その他」は省略している。

注3) ()内は、各取り組みを、「全学の共通教育」または「学科の教育」のいずれかで実施している件数(どちらか1つでも該当があれば1件、どちらとも該当があっても1件とカウントしている)。選択率は、例えば、「プレゼンテーション」の場合、「特に有効と思う」の選択数1,254件/実施件数2,006件=62.5%となる。

4 主体的な学習を促す取り組みの実施時期

初年次教育での実施が6割

主体的な学習を促している年次・段階は、「専門教育(ゼミ・卒論指導等)」(81.5%)が最も多く、次いで「初年次教育」(60.7%)、「専門教育(ゼミ・卒論指導等以外)」(57.3%)と続く。設置者別にみると、私立の「初年次教育」(63.7%)、「入学前教育」(16.6%)での実施率が相対的に高い(図6)。また、学科系統別には、「人文科学」「社会科学」といった文系学科でも、「専門教育(ゼミ・卒論指導等以外)」での実施率がそれぞれ55.6%、47.2%と5割前後にのぼる。文系学科の専門教育の中でも、ゼミ・卒論指導に限らず、主体的な学習を促す教育が広く行われている様子がうかがえる(図7)。

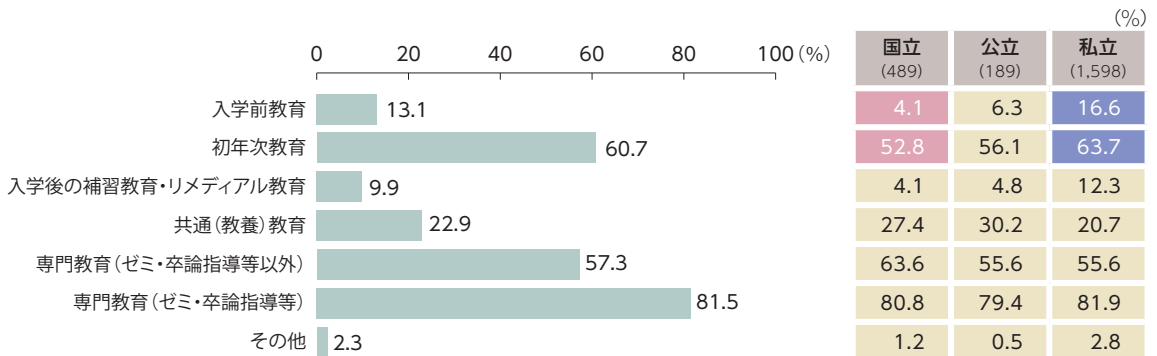
1

主体的な学習を促す教育の実施状況と体制について



貴学科では主にどの年次・段階で「主体的な学習」を促していますか。特に力を入れているものについて、すべてお答えください。(○はいくつでも)

図6 「主体的な学習」を促す教育を実施している時期・段階 (全体・設置者別)

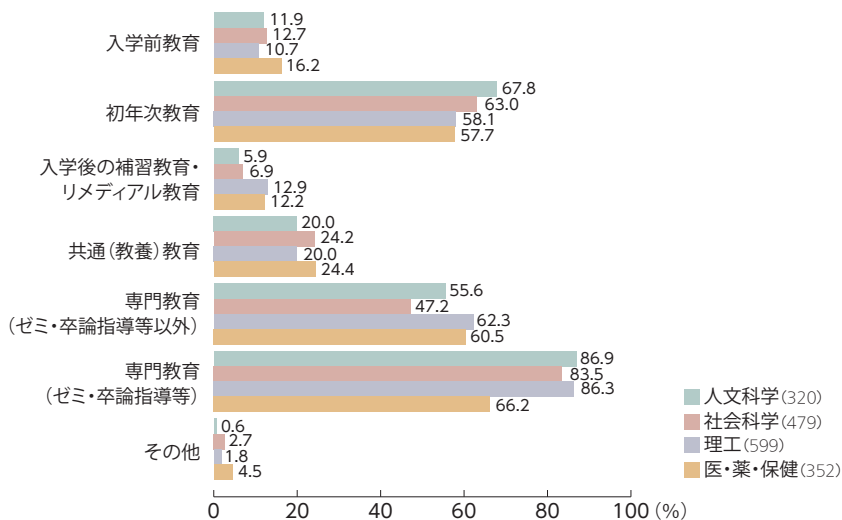


注1) 複数回答。

注2) n=2,276。対象は「組織的に「主体的な学習」を促す教育方法をカリキュラムに取り入れていますか」の問いに対し、「取り入れていない」「無回答」以外の回答者(p.5 図1参照)。図7も同様。

注3) 設置者別の表の網掛けは、設置者間で10ポイント以上の差があるもので、最も高いものを■、最も低いものを■で示している。

図7 「主体的な学習」を促す教育を実施している時期・段階 (学科系統別)



注) 複数回答。

5 学習環境の整備状況

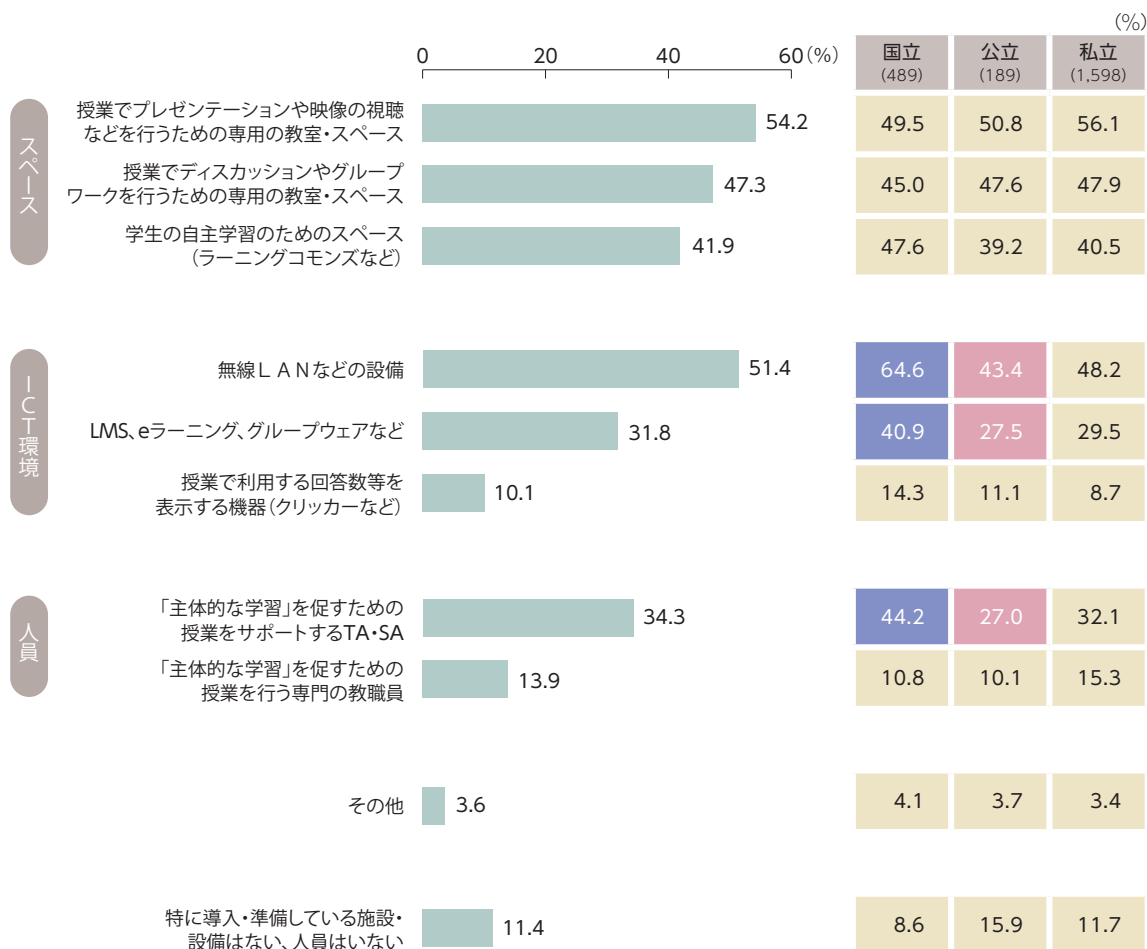
教室・スペースの整備は進んでいるが、人の活用は遅れ気味

主体的な学習を促すカリキュラムを運用するための施設・設備や人員などの学習環境の整備状況についてたずねた。まず、「専用の教室・スペース」の有無については、「プレゼンテーションや映像の視聴」「ディスカッションやグループワーク」を行うためのものがそれぞれ54.2%、47.3%とほぼ5割の学科で整備されている。一方、人員に関しては、『主体的な学習』を促すための授業をサポートするTA・SAが34.3%と3割以上で活用が進んでいるが、『主体的な学習』を促すための授業を行う専門の教職員は13.9%と少数であった。また、ICT環境の整備は、相対的に国立が進んでおり、公立では低くなっている。

Q

貴学科での「主体的な学習」を促すカリキュラムのための施設・設備や人員について、導入・準備しているものを、(複数学部で共用する場合を含め)すべてお答えください。(〇はいくつでも)

図8 「主体的な学習」を促すカリキュラム運用のための施設・設備や人員 (全体・設置者別)



注1) 複数回答。

注2) n=2,276。対象は、「組織的に『主体的な学習』を促す教育方法をカリキュラムに取り入れていますか」の問いに対し、「取り入れていない」「無回答」以外の回答者 (p.5 図1 参照)。

注3) 設置者別の表の網掛けは、設置者間で10ポイント以上の差があるもので、最も高いものを■、最も低いものを■で示している。

6 教員の指導力向上の取り組み

6 割強の学科で、学内の教員向けの研究会や講演会を実施

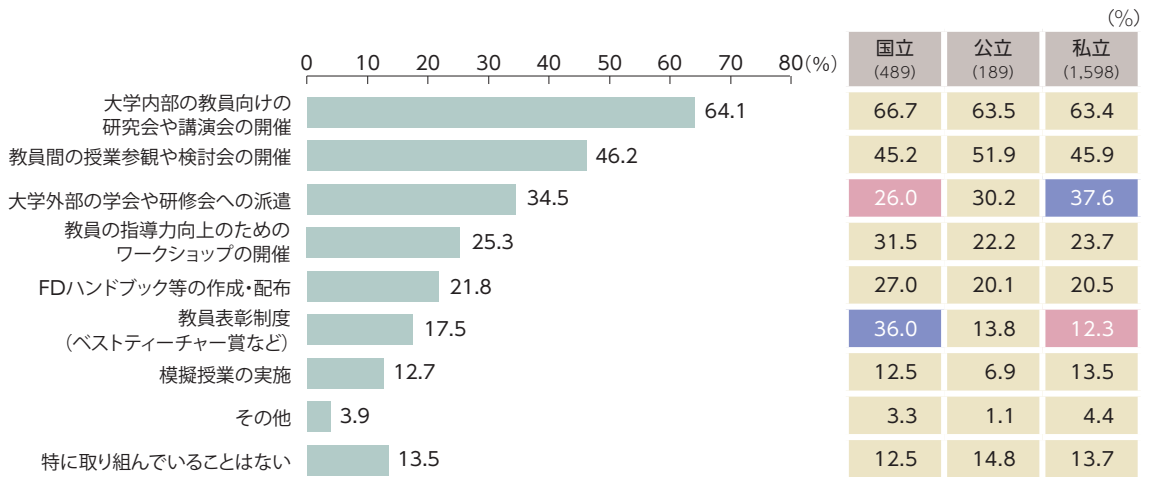
教員の指導力向上の取り組みとして多く行われているのは、「大学内部の教員向けの研究会や講演会の開催」(64.1%)で、設置者別にみても大きな違いはない(図9)。次に、図10は、教員研修に関する3つの項目について大学規模(学部数)別にみたものである。単科大学など大学規模の小さいところでは、「教員の指導力向上のためのワークショップの開催」に対し、「大学外部の学会や研修会への派遣」の実施率が高い傾向がみられ、大学外部の情報収集や研修の機会を積極的に活用しているようだ。

1 主体的な学習を促す教育の実施状況と体制について



貴学科では「主体的な学習」を促す授業を実践するために、教員の指導力向上の取り組みを実施していますか。組織的に実施しているものについて、すべてお答えください。(〇はいくつでも)

図9 「主体的な学習」を促す授業実践のための教員の指導力向上の取り組み状況(全体・設置者別)



注1) 複数回答。

注2) n=2,276。対象は、「組織的に「主体的な学習」を促す教育方法をカリキュラムに取り入れていますか」の問いに対し、「取り入れていない」「無回答」以外の回答者(p.5 図1参照)。

注3) 設置者別の表の網掛けは、設置者間で10ポイント以上の差があるもので、最も高いものを■、最も低いものを■で示している。

図10 教員研修の取り組み状況(3項目・大学規模(学部数)別)

